

事業所における 自己評価結果（公表）

公表：平成 31 年 1 月 16 日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」富塚校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	0	・活動に集中できるように1時間に1名を定員としている。	
	②	職員の配置数は適切である	6	0		
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	2	4	・正面玄関に段差があるため常に声掛けして注意を促している。	・現在は利用児の中に身体に不自由のある児はいないが、今後バリアフリー化を検討していきたい。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6	0	・毎朝、清掃、アルコール消毒をしている。 危険箇所がないかの確認、物品等の破損も確認している。	
業務 改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	6	0	・毎朝、打ち合わせをして児童の様子や支援方法の確認をしている。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	0	・年2回、保護者アンケートを実施し、保護者の意向や要望の聞き取りをしている。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	3		
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	5		・第三者による外部評価を今後必要に応じて行っていく。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	0	・事業所内研修や外部の研修に参加している。	
適切 な 支 援	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	4	0		
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	1		

の提供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5	1		
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6	0	・児それぞれの発達に合わせた支援を行っている。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	0	・支援の様子を全員に伝え、共通理解している。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	0	・記録をしっかり残し、口頭での申し送りをして子どものスキル UPを図っている。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	3	2		・集団イベントを年5回計画しているが、今年度は児発児童が少ないため他校舎と合同で実施。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	1		
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	1	・支援翌日の朝礼で情報共有の時間を設けている。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0	・支援記録を取るとともに、使用したプリントをファイルに保存して確認できるようにしている。	
⑳	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6	0			
関係機関や保護者と	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	1		
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	3	3		・保護者の希望があれば連携を図る。
	㉓	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0	1		該当者なし

の 連 携 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0	1		該当者なし
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	3		・保護者の要望があれば園の先生に支援を見学しに来てもらったり、職員が園に参観しに行ったりしている。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	0		・就学前かけはしシートを作成し、よりよい学校生活が送れるように情報提供を行っている。 ・かけはしシート持参時に担任やコーディネーターと直接話をして児の特性について説明をしている。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	1		
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0	6		

	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	1	5		
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0		・毎回支援終了後に内容を報告したり、保護者と今後の課題について話したりしている。
	㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	1	5		・家庭でやれることの助言はするが、ペアレントトレーニングは行っていない。
保 護 者 へ の 説 明	㉜	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	0		
	㉝	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6	0		

責 任 等	③4	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	0	・支援終了後に保護者と話をする時間を設け、子育ての悩みや家での取り組みについて話を聞き、必要な支援を行うよう心がけている。	
	③5	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6	0	・年に数回「ママカフェ」という保護者会を開き、保護者同士が話をする機会を設けている。	
	③6	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0		
	③7	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	3		・イベントについては文書で案内しているが、会報等は出していない。 1年間の見通しを持てるようなものを作っていけるといい。 ・きりり行事予定や様子などを保護者に伝えるお便りがあるといい。
	③8	個人情報の取扱いに十分注意している	6	0		
	③9	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0		
	④0	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	6		
非 常 時 等 の 対 応	④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5	1		・利用人数が少なく個別支援のため、説明のみで訓練は実施していない。
	④2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	1		・利用人数が少なく個別支援のため、説明のみで訓練は実施していない。
	④3	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5	1		
	④4	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	1	2		・飲食物の提供は行っていない。
	④5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	0		
	④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0		

47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	2	1		
----	--	---	---	--	--

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：平成 31 年 1 月 16 日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」富塚校 保護者等数（児童数） 4 回収数 2 割合 50 %

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	2	0	0	0		
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	2	0	0	0		
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	1	1	0	0		
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	1	1	0	0		
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	2	0	0	0		
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	2	0	0	0		
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	2	0	0	0		
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	2	0	0	0	・毎回思考を凝らしていてすごいです。	
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	0	0	2		
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	2	0	0	0		
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	1	0	0	1		
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	0	2	0	0	・保護者の支援がもう少しあると嬉しいです。	・ご意見ありがとうございます。前向きに検討していきたいと思います。お困りのことがありましたらご相談ください。

	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	2	0	0	0		
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	1	0	1	0		
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	0	1	0	1	・去年は何回かあったが今年はあまりなくて残念です。	・保護者会「ママカフェ」は年間2回計画しております。今後開催回数を増やせるように努力してまいります。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	1	1	0	0		
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	2	0	0	0		
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	1	0	0	1		
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	2	0	0	0		
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	1	0	0	1		
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	1	0	0	1		
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	2	0	0	0	・毎回とっても楽しみにしてよるこんで行く姿を見るとほっとします。“きらりひろば”が富塚校で開催してくれるといいな。 ・毎回楽しみにしているので通ってよかったと思います。	・ご意見ありがとうございます。今年度は幼児さんが少なく富塚校での開催が出来なくて申し訳ありませんでした。今後幼児さんおご利用が増えれば富塚校でイベントを開催したいと思います。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	2	0	0	0	・とっても考えて支援して頂き感謝です。もう少し親との交流やいろんな情報を知れると嬉しいです。 ・個別で本人に合った内容でみてもらえ	

								るところに満足して います。	
--	--	--	--	--	--	--	--	-------------------	--

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。